

器51 医療用嘴管及び体液誘導管
管理医療機器 短期的使用胃瘻栄養用チューブ 35419002

胃瘻バルーンカテーテル I

(エクステンションチューブ 胃瘻バルーンカテーテル I 用)

再使用禁止

【警告】

1. 使用方法

- 1) 本品はIS080369シリーズに規定されている小口径コネクタとは異なる設計の代替小口径コネクタであるため、他の代替小口径コネクタとの間で誤接続が起こる可能性があることに注意すること。

【禁忌・禁止】

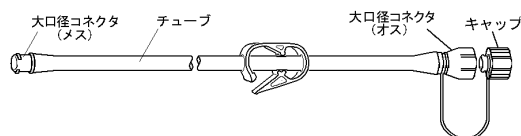
1. 使用方法

- 1) 再使用禁止

【形状・構造及び原理等】

1. 本品は、胃瘻バルーンカテーテル I (承認番号：30100BZX00256000) 専用の、エクステンションチューブである。

〈エクステンションチューブ〉



〈材質〉

各部の名称	原材料
チューブ	シリコンゴム
大口径コネクタ(オス)、大口径コネクタ(メス)	ポリプロピレン

本品はラテックスフリーである。

〈原理〉

胃瘻孔に留置した胃瘻バルーンカテーテル I と経腸栄養用のポンプを連結することで、経腸栄養剤を供給することができる。

【使用目的又は効果】

1. 使用目的

胃に直接栄養剤等を投与するために、造設された胃瘻孔より胃に挿管して使用する。なお、本品は短期的使用を目的としている。

2. 本品の使用目的

本品は造設された胃瘻孔に留置した胃瘻バルーンカテーテル I と経腸栄養用のポンプを連結し、栄養剤等の投与に使用する。

【使用方法等】

1. 一般的使用方法

〈接続前の準備〉

- 1) 滅菌包装より丁寧に取り出し破損等がないことを確認する。

〈接続方法〉

- 1) エクステンションチューブの大口径コネクタ(オス)を経腸栄養注入セット等と緩みが生じないように接続する。
- 2) 胃瘻バルーンカテーテル I の大口径コネクタ(オス)よりコネクタキャップを取り外す。
- 3) エクステンションチューブの大口径コネクタ(メス)を胃瘻バルーンカテーテル I の大口径コネクタ(オス)と緩みが生じないように接続する。

〈管理方法〉

- 1) 栄養剤等の投与後は、接続したエクステンションチューブより、適量の微温湯で胃瘻バルーンカテーテル I の内腔をフラッシングする。
- 2) 取り外したエクステンションチューブは、洗浄及び消毒後、十分に乾燥させ、清潔な状態で保管する。

2. 使用方法等に関連する使用上の注意

- 1) 胃瘻バルーンカテーテル I の取扱いは、当該製品の手順に従うこと。
- 2) 刃物、鉗子、針等で傷を付けないように注意すること。[シリコーンゴム製品は、傷が生じることにより強度が著しく低下するため、傷が生じると、破損の原因となる]

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 本品はMR Safeであり、一般的なMR検査による影響はない。[自己認証による]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

水濡れに注意し、高温、多湿な場所及び直射日光を避けて、清潔な状態で保管すること。

2. 有効期間

使用期限は製品ラベルに記載。[自己認証(当社データ)による]

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元 富士システムズ株式会社
TEL 03-5689-1927